



1 年次『山形のスペシャリストに聞くトップセミナー』を実施しました

11月9日（水）LHRの時間に、1年次生を対象に『山形のスペシャリストに聞くトップセミナー』を実施しました。この事業は、山形県内において、各分野で活躍するイノベーター（スペシャリスト）による講話により、社会人・職業人としての意識を高め、山形県の将来を担う高い志を持った人材を育成し、高校生の県内定着や進学後の県内回帰等に寄与することを目的とする、県教育委員会の企画です。本校ではOGでもあります有限会社西谷社長の西谷友里氏をお招きし『ENJOYできる大人に』と題して講演をいただきました。

西谷氏は、東京の私立大を卒業後YBC山形放送に入社しディレクターを務めるも、東日本大震災の際に、水用のポリタンクを買うため福島県南相馬市から1人の男性が店にやってきた出来事を契機に、家業を継ぐことを決意しYBCを退社、都内のベンチャー企業での修行を経て、現在の仕事に就いたとのことでした。



【講師のお話から】

- ディレクターの仕事が会社経営に役立っている。夢や職業は1つに絞る必要はない。転職や副業が当たり前の時代になってきた。たとえ卒業時に第一志望の大学や企業に入れなかったとしても、たとえ希望の職種につけなかったとしても、そこで夢は終わりではない。
- 今勉強していることが、将来役立つことがある。点が線になる日が必ず来る。自分の「イマ」は将来に確実に繋がっている。

【生徒の感想から】

- 仕事を趣味だと言える西谷さんはかっこいいと思った。様々な仕事を経験したことが今の仕事に役立っていると聞いて、一つの仕事に固執する必要はなくて、自分のやりたい仕事に思い切って転職することもできるのだと思った。いろいろなことに一生懸命取り組み、日々の生活をEnjoyしていきたい。
- 友里さんは「ご縁」という言葉を繰り返し使っていた。それだけ彼女の人生にとってキーワードになっているのだと感じた。世間からの偏見や常識という型に囚われない、アクティブな大人になりたい。